

2025年3月期 通期決算概況

2025年5月13日

株式会社 J-オイルミルズ
問い合わせ先:
財務部財務企画グループ Tel. 03-5148-7101

Agenda

- 1 2024年度 通期決算概況
- 2 2025年度 業績予想
- 3 中期経営計画の進捗状況
- 4 参考資料

2024年度 連結業績概要

(単位:億円)

	2023年度 実績	2024年度 実績	前年差	前年比	2024年度 通期予想	予想比
売上高	2,443.2	2,307.8	▲ 135.4	94.5%	2,300.0	100.3%
営業利益	72.4	85.7	+ 13.3	118.3%	85.0	100.8%
経常利益	90.4	100.3	+ 9.9	110.9%	95.0	105.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	67.9	70.0	+ 2.0	103.0%	65.0	107.6%
営業利益率	3.0%	3.7%	-	-	3.7%	-
ROE	7.0%	6.7%	-	-	6.5%	-
ROIC	3.8%	4.6%	-	-	4.5%	-
EPS	205.4	211.5	-	-	196.5	-

2024年度 セグメント別業績

(単位:億円)

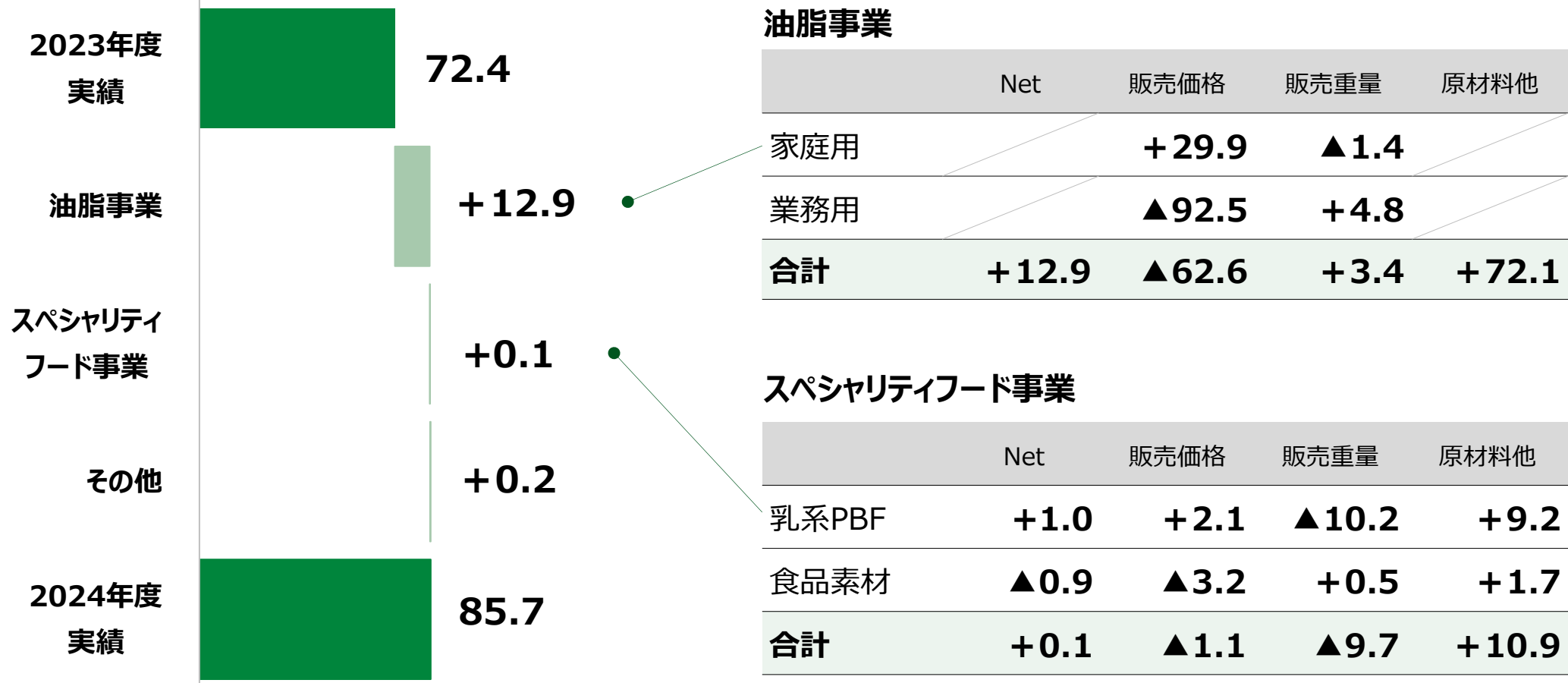
売上高	2023年度 実績	2024年度 実績			2024年度 通期予想	予想比
			前年差	前年比		
油脂事業	2,200.0	2,092.3	▲ 107.7	95.1%	2,080.0	100.6%
スペシャルティフード事業	232.8	205.7	▲ 27.1	88.3%	210.0	97.9%
(内乳系PBF)	129.5	109.7	▲ 19.9	84.7%	110.0	99.7%
(内食品素材)	103.3	96.0	▲ 7.3	93.0%	100.0	96.0%
その他事業	10.4	9.9	▲ 0.5	94.7%	10.0	98.5%
連結合計	2,443.2	2,307.8	▲ 135.4	94.5%	2,300.0	100.3%

営業利益	2023年度 実績	2024年度 実績			2024年度 通期予想	予想比
			前年差	前年比		
油脂事業	69.5	82.4	+ 12.9	118.6%	81.0	101.8%
スペシャルティフード事業	1.2	1.4	+ 0.1	110.0%	2.0	67.6%
(内乳系PBF)	▲ 1.8	▲ 0.8	+ 1.0	-	0.0	-
(内食品素材)	3.1	2.1	▲ 0.9	70.0%	2.0	107.4%
その他事業	1.7	1.9	+ 0.2	114.7%	2.0	96.5%
連結合計	72.4	85.7	+ 13.3	118.3%	85.0	100.8%

2024年度 営業利益増減分析

■セグメント別 営業利益増減

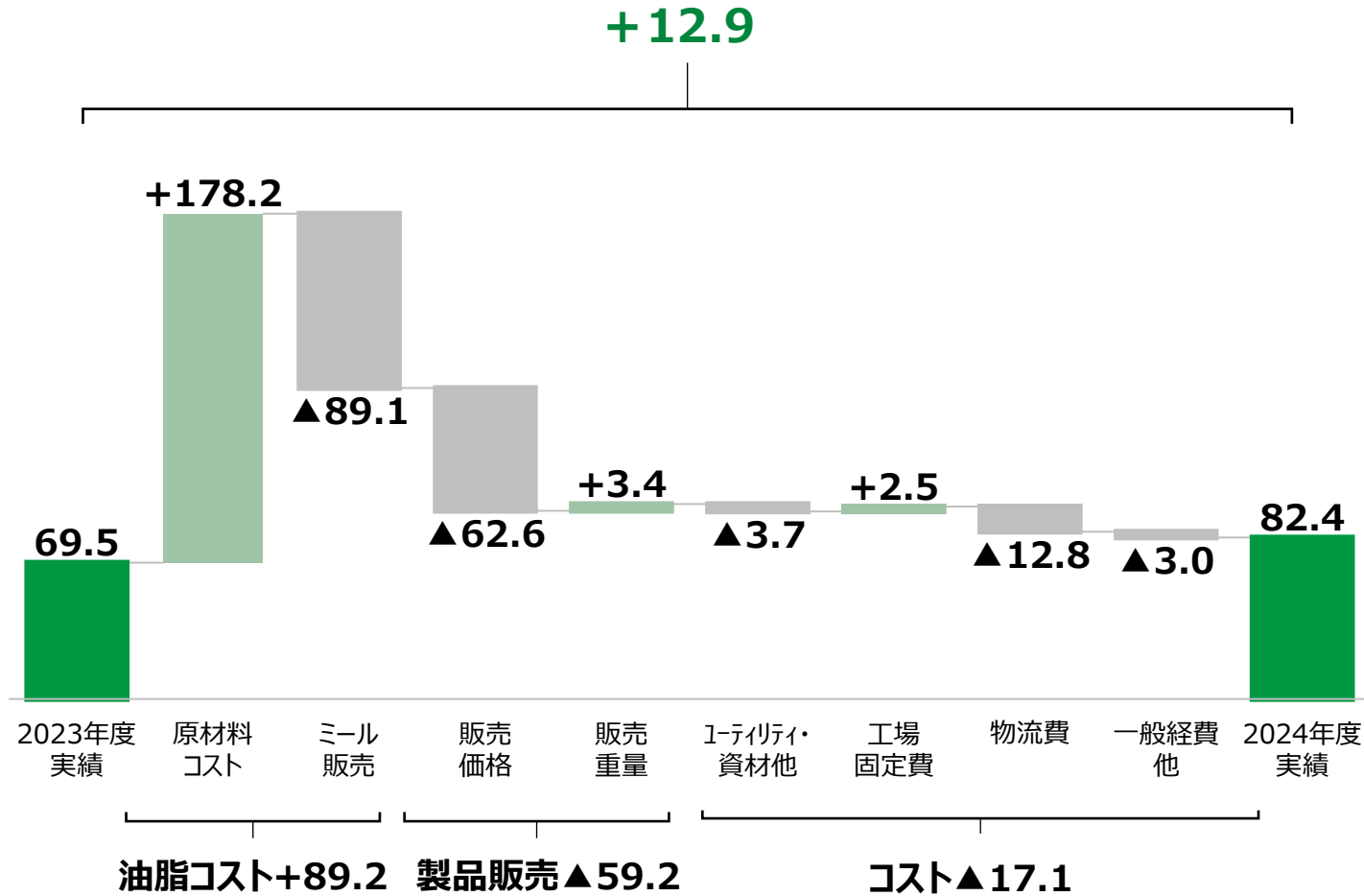
(単位:億円)



2024年度 営業利益増減分析

■ 油脂事業 営業利益増減

(単位:億円)



油脂コスト詳細			
原材料コスト	+178.2	大豆 菜種 為替 購入油 在庫影響他	+157.7 +122.5 ▲103.8 ▲39.8 +41.5
ミール販売	▲89.1	販売価格 販売重量	▲91.9 +2.8

コスト詳細			
1-ティリティ・資材他	▲3.7	1-ティリティ 資材他	▲0.7 ▲3.0
一般経費他	▲3.0	人件費 広告費 販促費 その他	▲1.2 ▲0.3 +0.8 ▲2.3

高付加価値品の状況

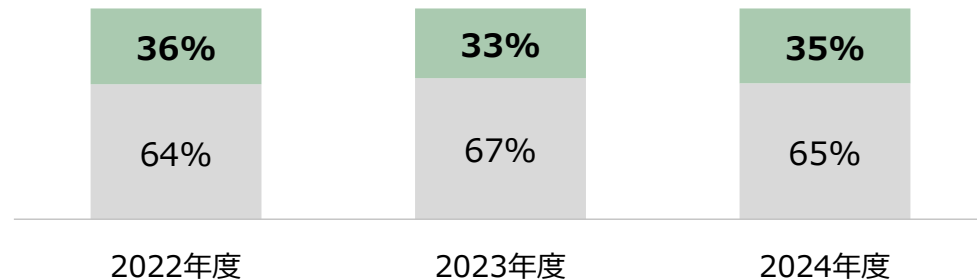
■ 高付加価値品連結売上高・粗利益

(単位：億円)

		2023年度	2024年度	前年比
	家庭用	154.9	186.4	120.3%
	業務用	406.2	395.9	97.5%
油脂事業		561.2	582.3	103.8%
スペシャルティ フード事業		115.5	120.9	104.6%
売上高		676.7	703.2	103.9%
粗利益		117.4	134.9	114.9%
粗利益率		17.4%	19.2%	+1.8ppt

■ 連結粗利構成比推移

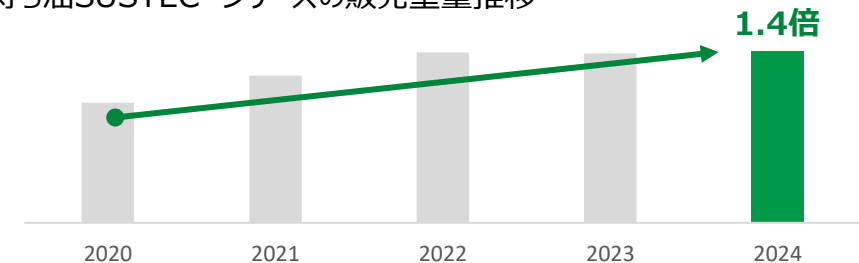
■ 汎用品 ■ 高付加価値品



■ 主な高付加価値品の売上高構成比



長持ち油SUSTEC®シリーズの販売重量推移



(2020年を1とする)

B/S・C/Fの状況

■連結貸借対照表

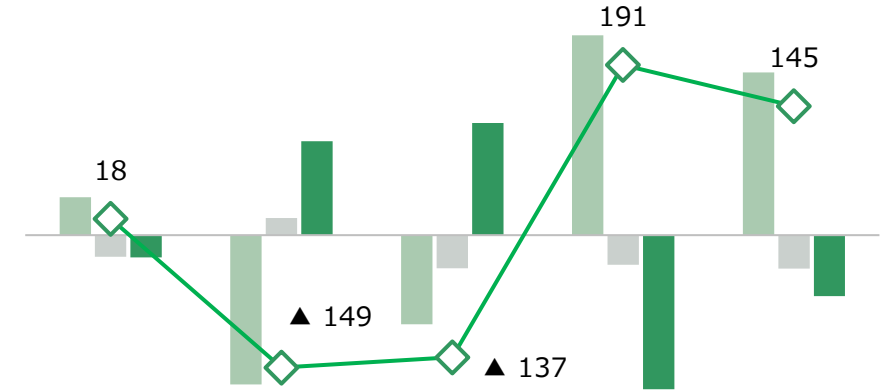
	23年期末	24年期末	増減
流動資産	1,088	1,014	▲ 74
現預金	42	120	+ 77
売上債権	455	408	▲ 47
棚卸資産	555	458	▲ 97
その他	36	29	▲ 7
固定資産/繰延資産	693	687	▲ 5
有形・無形資産	456	459	+ 3
投資その他	236	228	▲ 8
資産 計	1,781	1,702	▲ 79

	23年期末	24年期末	増減
負債	760	639	▲ 122
仕入債務	207	150	▲ 57
有利子負債※	288	242	▲ 46
引当金	45	45	▲ 0
その他	220	201	▲ 18
純資産	1,021	1,063	+ 42
株主資本	952	1,002	+ 50
包括利益他	64	56	▲ 8
非支配株主持分	4	5	+ 0
負債・純資産 計	1,781	1,702	▲ 79

※有利子負債・・・社債と借入金の合計値を使用

(単位:億円)

■キャッシュフロー



(年度)	2020	2021	2022	2023	2024
営業C/F	43	▲168	▲100	225	183
投資C/F	▲24	19	▲37	▲33	▲38
財務C/F	▲25	106	126	▲173	▲69
フリーC/F	18	▲149	▲137	191	145

【資本の財源及び資金の流動性についての分析】

(年度)	2020	2021	2022	2023	2024
自己資本比率(%)	60.1	58.2	52.5	57.1	62.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	5.2	-	-	1.4	1.5
インステレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	36.3	-	-	174.9	161.5

Agenda

- 1 2024年度 通期決算概況
- 2 **2025年度 業績予想**
- 3 中期経営計画の進捗状況
- 4 参考資料

2025年度 連結業績予想

(単位:億円)

	2024年度 実績	2025年度 予想	前年差	前年比
売上高	2,307.8	2,400.0	+ 92.2	104.0%
営業利益	85.7	90.0	+ 4.3	105.0%
経常利益	100.3	100.0	▲ 0.3	99.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	70.0	70.0	+ 0.0	100.1%
営業利益率	3.7%	3.8%	-	-
ROE	6.7%	7.0%	-	-
ROIC	4.6%	5.0%	-	-
EPS	211.5	211.6	-	-

2025年度 セグメント別業績予想

(単位:億円)

売上高	2024年度 実績	2025年度 予想	前年差	前年比
油脂事業	2,092.3	2,195.0	+102.7	104.9%
スペシャルティフード事業	205.7	195.0	▲ 10.7	94.8%
(内乳系PBF)	109.7	110.0	+0.3	100.3%
(内食品素材)	96.0	85.0	▲ 11.0	88.5%
その他事業	9.9	10.0	+0.1	101.5%
連結合計	2,307.8	2,400.0	+92.2	104.0%

営業利益	2024年度 実績	2025年度 予想	前年差	前年比
油脂事業	82.4	83.0	+0.6	100.7%
スペシャルティフード事業	1.4	6.0	+4.6	443.8%
(内乳系PBF)	▲ 0.8	2.0	+2.8	-
(内食品素材)	2.1	4.0	+1.9	186.3%
その他事業	1.9	1.0	▲ 0.9	51.8%
連結合計	85.7	90.0	+4.3	105.0%

重点取り組み

■ 家庭用油脂

- ・ 適正な販売価格の実現
- ・ オリーブオイルの拡販と収益力強化
- ・ 「スマートグリーンパック®」配荷拡大およびトライアル促進
- ・ こめ油ラインアップ追加による更なる拡販

■ 業務用油脂

- ・ 適正な販売価格の実現
- ・ 「長徳®」シリーズ、「JOYL PRO®」シリーズなどの高付加価値品提案
- ・ ソリューション提案による顧客課題解決の拡大

■ 乳系PBF

- ・ 「グランマスター®」シリーズのラインアップ拡充
- ・ 製菓製パン分野での顧客課題解決につながる提案活動

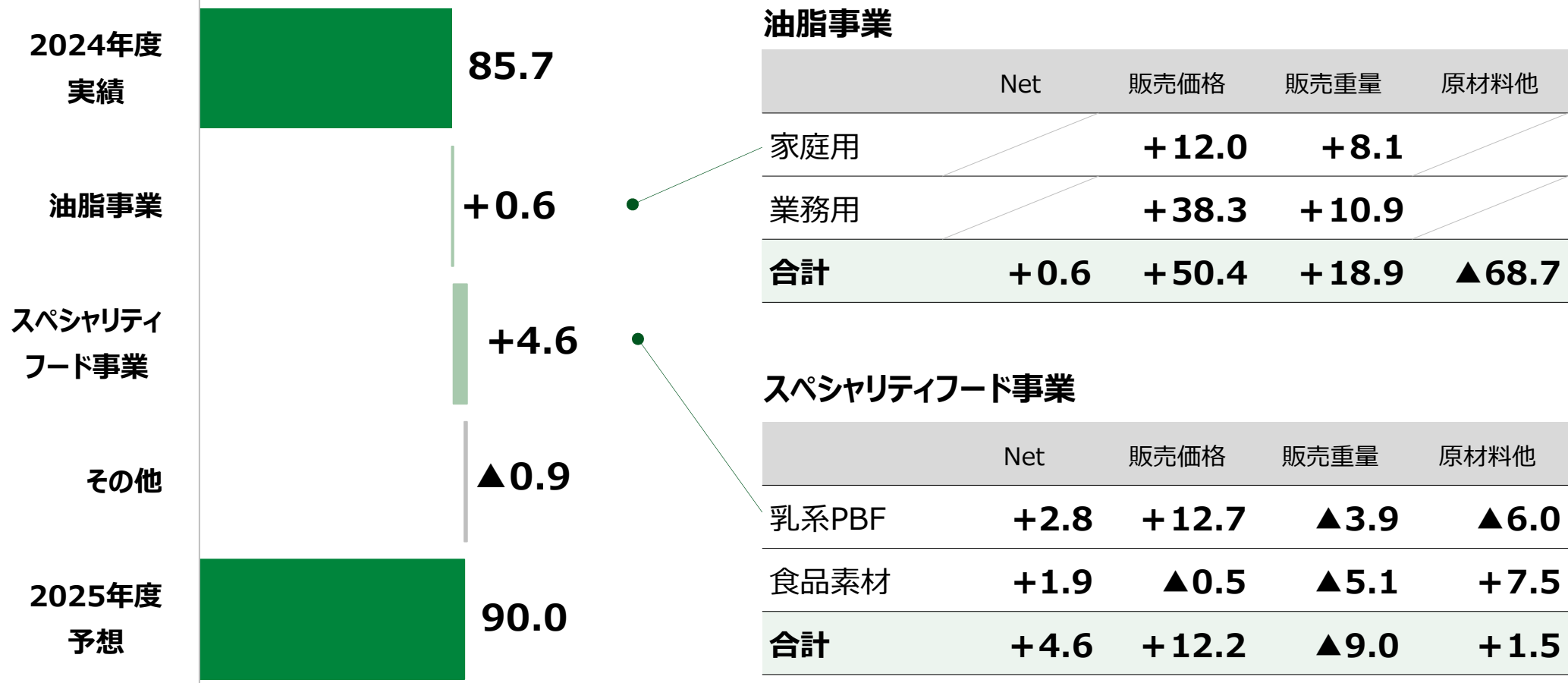
■ 食品素材

- ・ 「TXdeSIGN®」シリーズの製菓製パン・畜肉用途への提案に加え、日系企業を中心とした海外提案の強化

2025年度 営業利益増減分析

■セグメント別 営業利益増減

(単位:億円)



Agenda

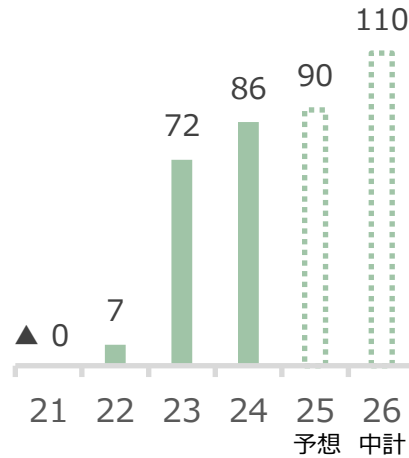
- 1 2024年度 通期決算概況
- 2 2025年度 業績予想
- 3 中期経営計画の進捗状況
- 4 参考資料

第六期中期経営計画の進捗状況

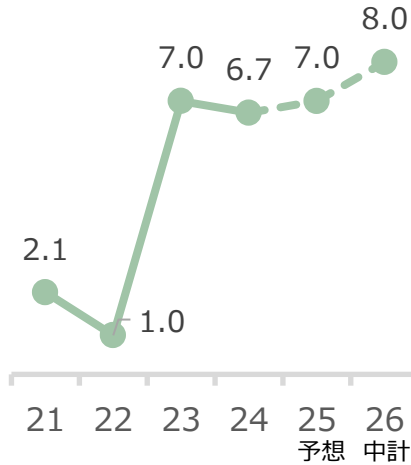
24年度は過去最高益を達成、更なる成長戦略への取組みと収益性向上を目指す

定量評価

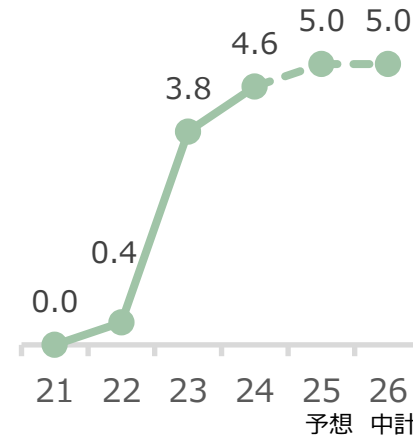
営業利益 (億円)



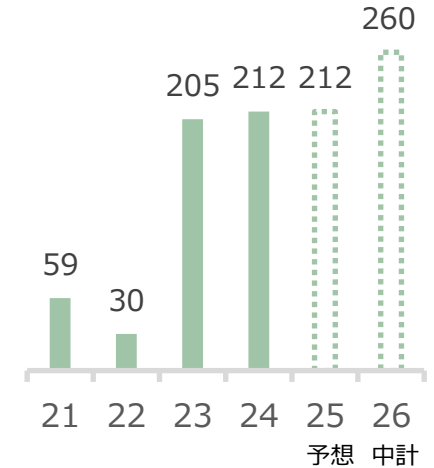
ROE (%)



ROIC (%)



EPS (円)



定性評価

成果

- 過去最高益を達成、ROE,ROIC,EPSも改善傾向
- 外部環境に応じた適正価格での販売
- 業務用油脂の販売重量の拡大
- 不採算事業（家庭用マーガリン等）撤退
- 資産効率向上（在庫削減等）

25年度以降の注力分野

- 成長戦略の次期成長ドライバー育成
- 海外事業領域の拡大

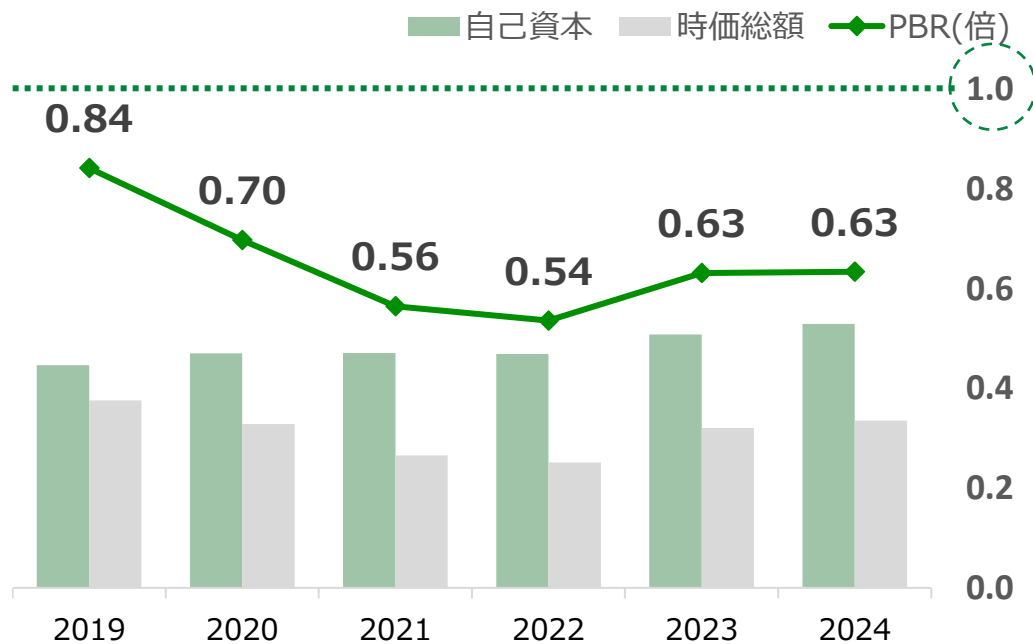
市場評価の変遷とPBR要素の分解

株主資本コストを上回るROE水準の達成と成長戦略の取組み強化によりPBRの改善を図る

PBR(株価純資産倍率)

- 収益の改善に伴いPBRは改善傾向だが、PBR1.0倍割れが続く

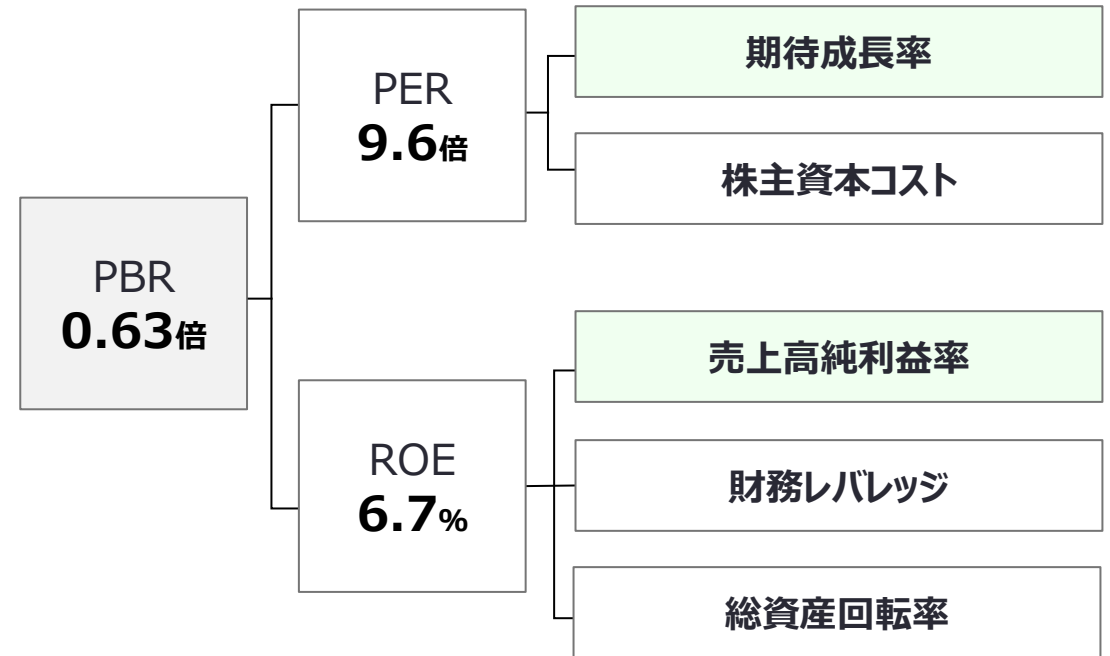
株主資本コスト 6-7%※



※:当社の認識する株主資本コスト (CAPMベース)

PBR要素の分解

- 期待成長率と利益率の向上を目指す



成長戦略の方向性

おいしさ × 健康 × 低負荷で人々と社会と環境へのよろこびを
創出するために成長戦略のスピードを加速

今後10年で想定される外部環境

機会

- 世界人口増による食料需給増加
- サステナビリティ意識の社会的浸透
- 高齢化や労働人口減少による新たなニーズの顕在化
- 次世代フードテックの開発
- 非鉱物油原料の代替需要増加

リスク

- 国内人口減による需要の減少
- 気候や急激な為替変動影響によるエネルギー・原料供給不安定化・価格ボラティリティ上昇



J-オイルミルズの強み

素材

技術力

顧客接点

新たな強み

既存事業の収益性強化

- 収益基盤の強化
- 油脂製品・サービス高付加価値化

事業ポートフォリオの高度化と 海外展開の加速

- ソリューションの深化
- 新たな成長ドライバーとなる事業の発掘、育成
- 海外展開の加速

2030年以降を見据えた 次世代技術への投資

- 次世代事業シーズの探索と投資

既存事業の収益性強化

外部環境変化に応じた低負荷を強みとする油脂製品の拡大

業務用油脂

長持ち油「長徳®」リニューアル

酸価上昇抑制機能が向上！
(3割抑制)

廃油量の抑制によりコスト・環境負荷抑制



調味・調理油の拡販

人手不足の中、簡単にできたて風味を
再現する「JOYL PRO®」調味油

「炭火焼き風味オイル」 「グリルオイル」



ごはんをおいしく、かつコストダウンに寄与する
「JOYL PRO®」炊飯油



家庭用油脂

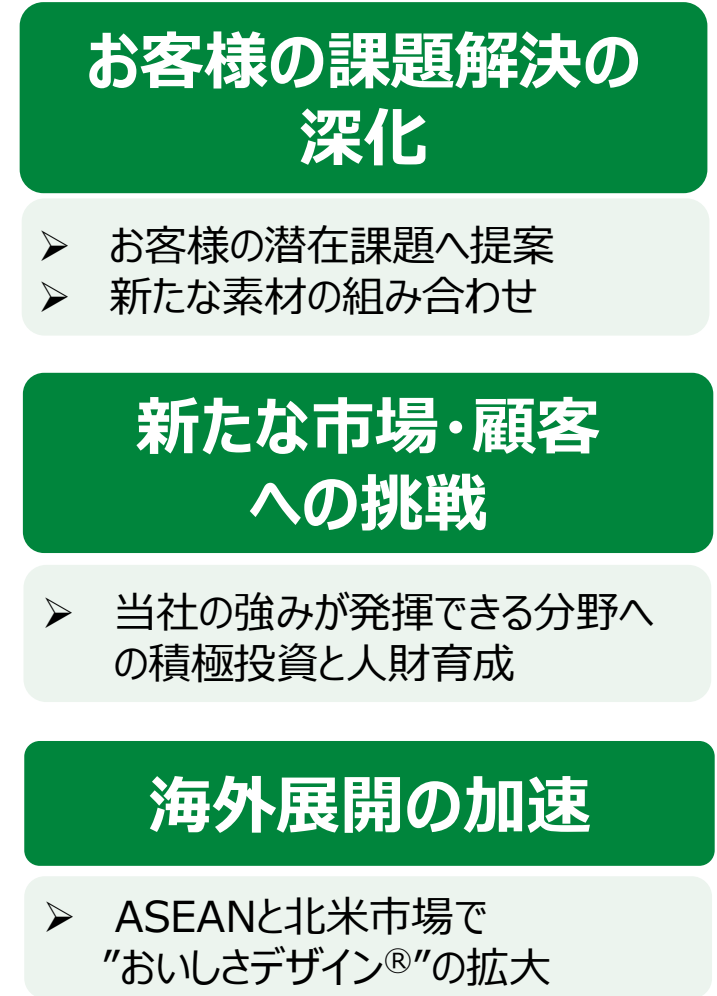
「スマートグリーンパック®」の拡大

使いやすく、プラスチック削減の紙パック
食用油「スマートグリーンパック®」シリーズ
ラインアップ強化による
配荷拡大およびトライアル促進



事業ポートフォリオの高度化

“おいしさデザイン®”を磨きこみ、新たな成長へ挑戦する



経営基盤強化による企業価値向上への取組み

人財育成強化と多様性の推進により、組織力・創造性を向上し、ビジョンの実現を目指す

人財育成 ～人財委員会の設置～

人財委員会の重要テーマ

- 人財育成・組織文化醸成
- 健康経営・ウェルビーイングの促進
- DE&Iの推進
 - ・事業戦略に基づいた人財ポートフォリオ
 - ・ステークホルダーへ価値提供できる人財育成投資

「壁を越え、共に挑み、期待を超える」チームづくり

研究開発拠点（3拠点）の統合

統合の効果

- 異なる技術分野の組み合わせによるシナジー効果発揮
- 部門間の横断的なプロジェクトへの対応力向上
- 研究開発員同士のダイレクトコミュニケーションによる生産性向上

イノベーション創出の活性化による
中長期的な事業成長の実現



「Joy for Life® - 食で未来によるこびを - 」の実現

経営基盤強化による企業価値向上への取組み

dXを活用した変革により、競争上の優位を確立する

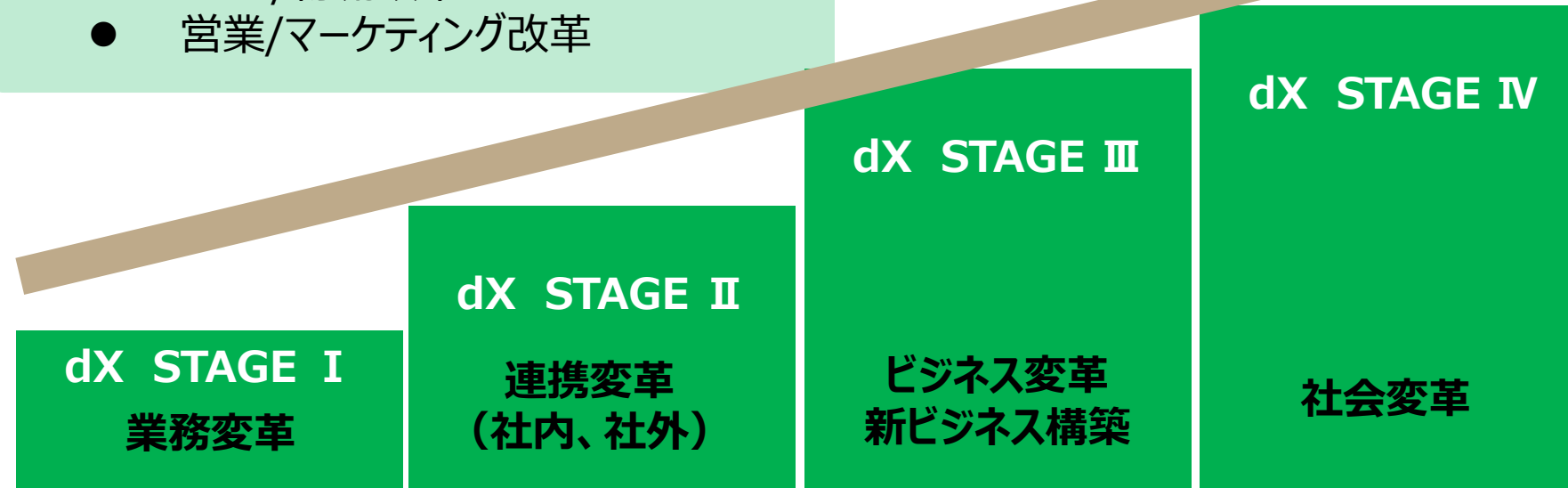
2024年度取組み

- 経営者・事業責任者のリーダーシップによる推進体制確立
- 重要取組4テーマの確定
 - 人財育成/風土改革
 - 業務改革
 - SCM/物流改革
 - 営業/マーケティング改革

目指す姿

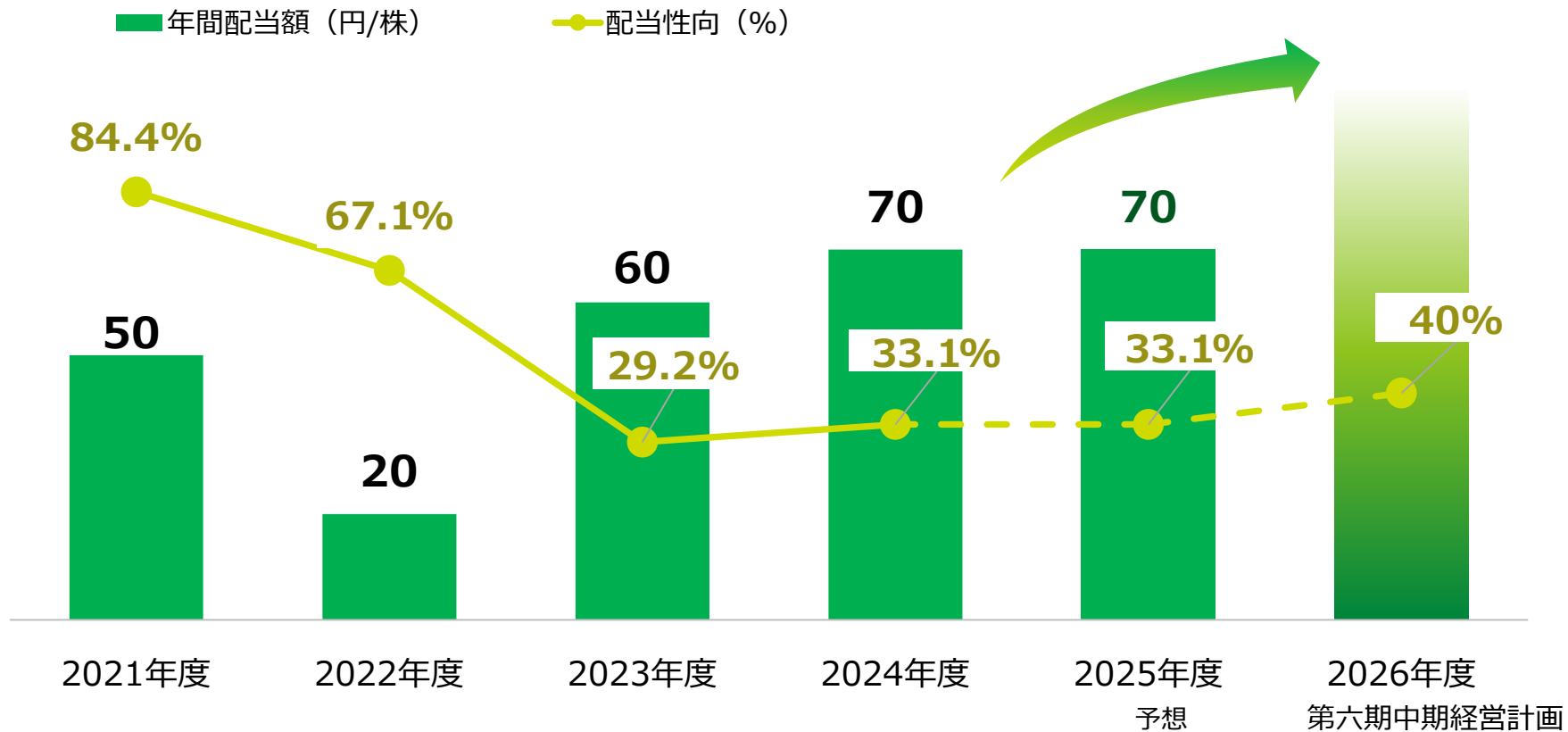
AI、IoTなどのデジタル技術を活用し、事業、製品サービス、ビジネスモデルを変革し、**競争上の優位性**を確立する

JOYL
Joy for Life
ビジョン、ミッション
達成



株主還元

2024年度は記念配当10円を加え、過去最高の70円/年の配当
引き続き連結配当性向**40%**を目安とした安定的な配当を目指す



次世代技術を活用した脱炭素社会実現に向けた取り組み

食用に適さない植物の種子から生成した国産SAF*（持続可能な航空燃料）を用いたフライトを実施

- 沖縄県で採取された非可食植物より100%バイオマス由来のSAFの生成に成功
- 本SAFを用いたフライトを実施（沖縄県内路線では初）
- 脱炭素社会実現にむけた貢献を目指す



テリハボクの種子



ポンガミアの種子



テリハボク及びポンガミアの種子
から生成したニートSAF



離陸するJTA565便

* SAF

Sustainable Aviation Fuelの略で、持続可能な航空燃料を意味します。持続可能性の条件を満たした再生可能あるいは廃棄物を原料とし、化石燃料と比較してGHG排出量を低減可能なジェット燃料を指すものです。

CEOメッセージ

- 2020年代に入り、原料価格の高騰に直面する厳しい状況下、構造改革や経営基盤の強化にスピード感をもって取り組み、**2024年度は、当期純利益、配当が過去最高水準と、「復活」を果たした。**
- 今後、気候変動やAI技術の進化をはじめとして、外部環境がより一層大きく変化する中で、**当社ビジョン「Joy for Life® - 食で未来によろこびを -」の実現を目指し、外部環境の変化を機会と捉え、「成長」へ舵を切る。**
- 投資家の皆さまや従業員を含めた、様々なステークホルダーとの対話を進めながら、
 - （１）事業成長シナリオの具現化と株主への還元**
 - （２）それを実現するための投資（研究開発、事業開発、人的資本など）**の実行に注力していきたい。

Agenda

- 1 2024年度 通期決算概況
- 2 2025年度 業績予想
- 3 中期経営計画の進捗状況
- 4 参考資料

サステナビリティへの取り組み

気候変動や調達、DE&I、商品開発への取り組みを実施中

	主な取り組み	FY30 目標
環境	● GHG(CO₂)排出量削減 ● 気候変動のリスクと機会について財務インパクトの影響度評価、リスクへの対応 ● 水使用量削減	● CO₂排出量50%削減 (Scope 1+2 FY2013対比) ● FY50まで ・カーボンニュートラル (Scope 1+2) ● 水使用量30%削減 (FY2019対比)
サステナブル 調達	● サプライチェーンマネジメント (当社サステナブル調達方針への同意書締結、SAQ調査など) ● パーム油トレーサビリティ向上、認証油供給体制強化	● サステナブル調達の深化 ● 農園までのトレーサビリティ100% (パーム油)
ダイバーシティ エクイティ& インクルージョン	● マネジメント意識改革 ● 全従業員対象教育 ● 多様な人財が共創できる組織風土の実現 (女性リーダー育成施策)	● 女性管理職比率20% ● 男性育児休職取得比率100%
サステナブル 商品開発	● 低負荷商品化の推進 ● 環境配慮型容器の開発と上市 ● カーボンフットプリント認証維持	● プラスチック廃棄ゼロ ● 自社包材への循環採用開始

原料動向

原料・為替状況※1

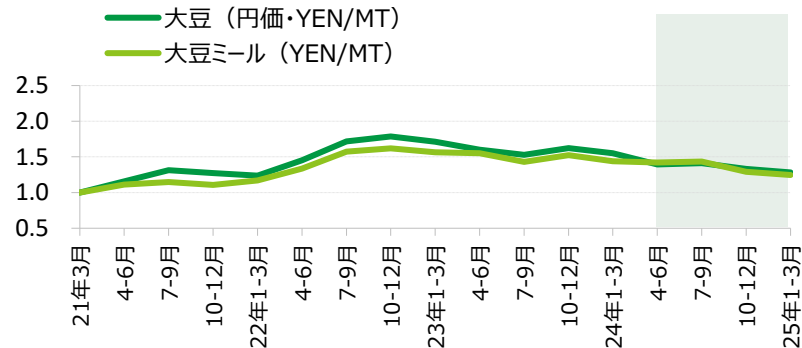
	24'1Q	24'2Q	24'3Q	24'4Q	25'1Q		25'2Q		25'3Q		25'4Q	
	結果	結果	結果	結果	結果	前年差	直近相場	前年差				
大豆 ¢/Bu ^{※2}	1,193.4	1,186.0	1,040.1	993.5	1,025.0	▲168.4	1028.7	▲157.3				
菜種 ¢/MT ^{※3}	608.1	631.6	601.2	614.6	627.3	+19.1	660.7	+29.1				
ミール ^{※4}	59.8	61.5	60.7	58.3	57.5	▲2.3	55.2	▲6.3				
海上運賃 us\$/t ^{※4}	68.9	65.9	62.2	54.5	50.0	▲18.9	47.0	▲18.8				
為替レート 円/us\$ ^{※5}	149.4	156.9	150.6	153.4	153.7	+4.3	145.5	▲11.4				

※1: 搾油原料の買付けは基本的に約3カ月前の時点にて行っており、本図では各期の業績に影響のある期間相場の平均値を示しています

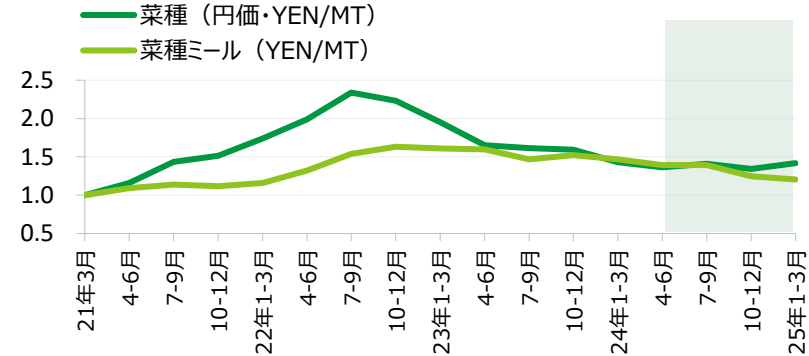
※2: シカゴ相場 ※3: ウィネベグ相場 ※4: US Gulf-Japan PANAMAX ※5: 為替TTSレート

原料価格推移

大豆・大豆ミール



菜種・菜種ミール



※2021年3月を1として算出

2024年度通期 営業利益増減分析詳細

営業利益 前年比較

(単位:億円)

	2023年度	2024年度	対前年 増減額	詳細
油脂事業	69.5	82.4	+ 12.9	
家庭用				販売価格: +29.9、販売重量: ▲1.4
業務用				販売価格: ▲92.5 販売重量: +4.8
スペシャルティフード事業	1.2	1.4	+ 0.1	
乳系PBF	▲1.8	▲0.8	+1.0	販売価格: +2.1、販売重量: ▲10.2
食品素材	3.1	2.1	▲0.9	販売価格: ▲3.2、販売重量: +0.5
その他	1.7	1.9	+0.2	
総計	72.4	85.7	+ 13.3	

■ 油脂事業 営業利益増減分析詳細

	対前年 増減額	詳細
製品販売	▲59.2	
販売価格	▲62.6	汎用品: ▲91.3、高付加価値品: +28.7
販売重量	+3.4	汎用品: +1.5、高付加価値品: +1.9
参考) 高付加価値品	+30.7	家庭用: +46.3、業務用: ▲15.6
油脂コスト	+89.2	
原料コスト	+178.2	大豆: +157.7、菜種: +122.5、為替: ▲103.8、購入油: ▲39.8、在庫影響他: +41.5
ミール販売	▲89.1	販売価格: ▲91.9、販売重量: +2.8
その他コスト	▲17.1	
1-ティリティ・資材他	▲3.7	1-ティリティ: ▲0.7、資材他: ▲3.0
工場固定費	+2.5	
物流費	▲12.8	
一般経費他	▲3.0	人件費: ▲1.2、広告費: ▲0.3、販売促進費: +0.8、その他: ▲2.3
油脂事業	+12.9	

*為替（期中平均レート）
23年度:139円/1ドル
24年度:150円/1ドル

2025年度業績予想 営業利益増減分析詳細

営業利益 前年比較

(単位:億円)

	2024年度	2025年度 通期予想	対前年 増減額	詳細
油脂事業	82.4	83.0	+0.6	
家庭用				販売価格: +12.0、販売重量: +8.1
業務用				販売価格: +38.3 販売重量: +10.9
スペシャルティフード事業	1.4	6.0	+4.6	
乳系PBF	▲0.8	2.0	+2.8	販売価格: +12.7、販売重量: ▲3.9
食品素材	2.1	4.0	+1.9	販売価格: ▲0.5、販売重量: ▲5.1
その他	1.9	1.0	▲0.9	
総計	85.7	90.0	+4.3	

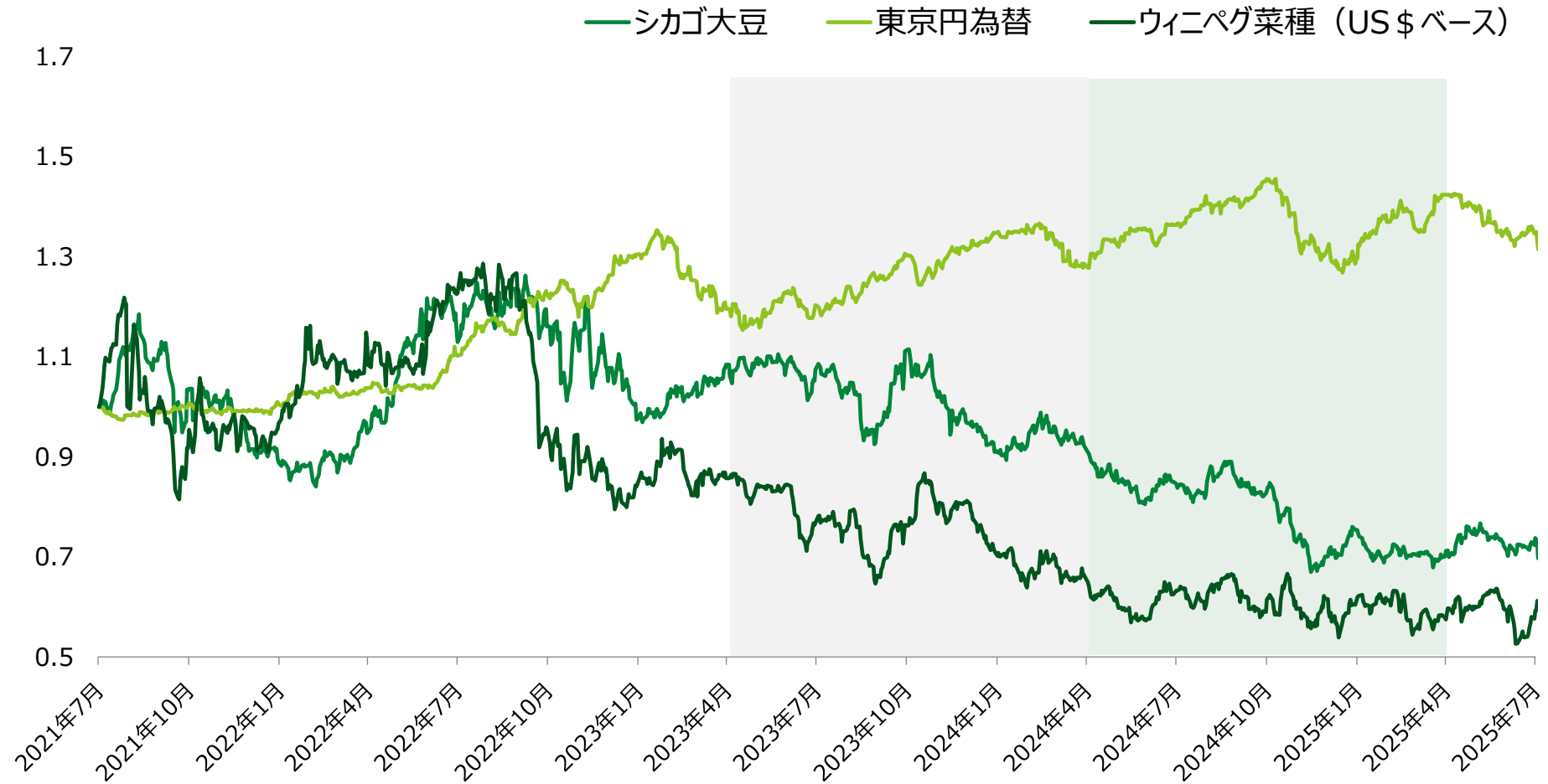
■ 油脂事業 営業利益増減分析詳細

	対前年 増減額	詳細
製品販売	+69.3	
販売価格	+50.4	汎用品: +33.6、高付加価値品: +16.8
販売重量	+18.9	汎用品: +4.2、高付加価値品: +14.7
参考) 高付加価値品	+31.5	家庭用: +8.1、業務用: +23.4
油脂コスト	▲44.7	
原料コスト	+33.0	大豆: +30.9、菜種: ▲15.4、為替: +0.5、購入油: +27.1、在庫影響他: ▲10.1
ミール販売	▲77.7	販売価格: ▲82.0、販売重量: +4.3
その他コスト	▲24.0	
1-ティリティ・資材他	▲1.4	1-ティリティ: +0.4、資材他: ▲1.8
工場固定費	▲4.9	
物流費	▲9.0	
一般経費他	▲8.7	人件費: ▲2.9、広告費: +4.5、販売促進費: ▲1.8、その他: ▲8.5
油脂事業	+0.6	

*為替 (期中平均レート)
24年度:150円/1ドル
25年度予想:150円/1ドル

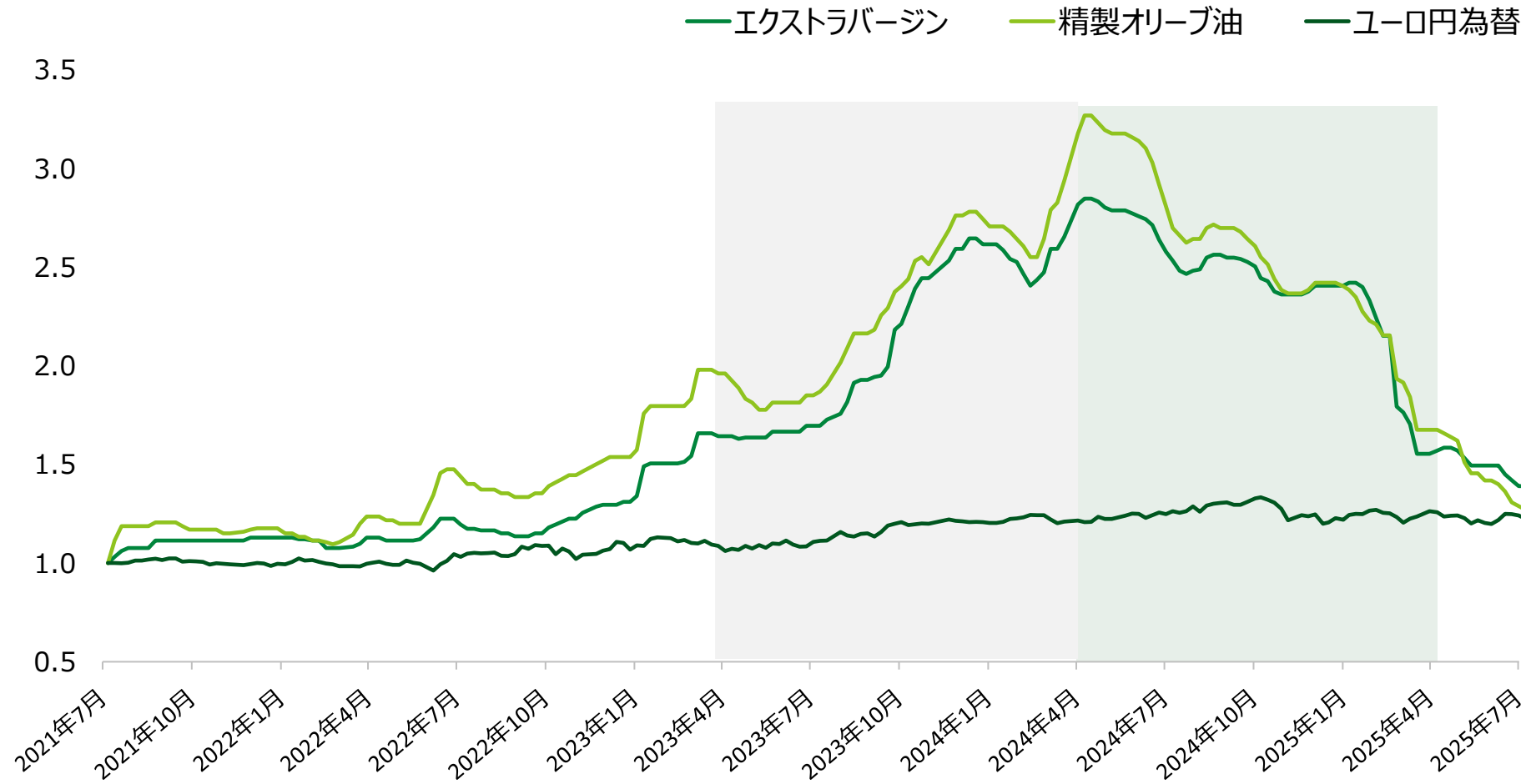
大豆、菜種、為替(米ドル)の相場動向

* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2021年4月を1とする(図中では2021年7月が1となる))

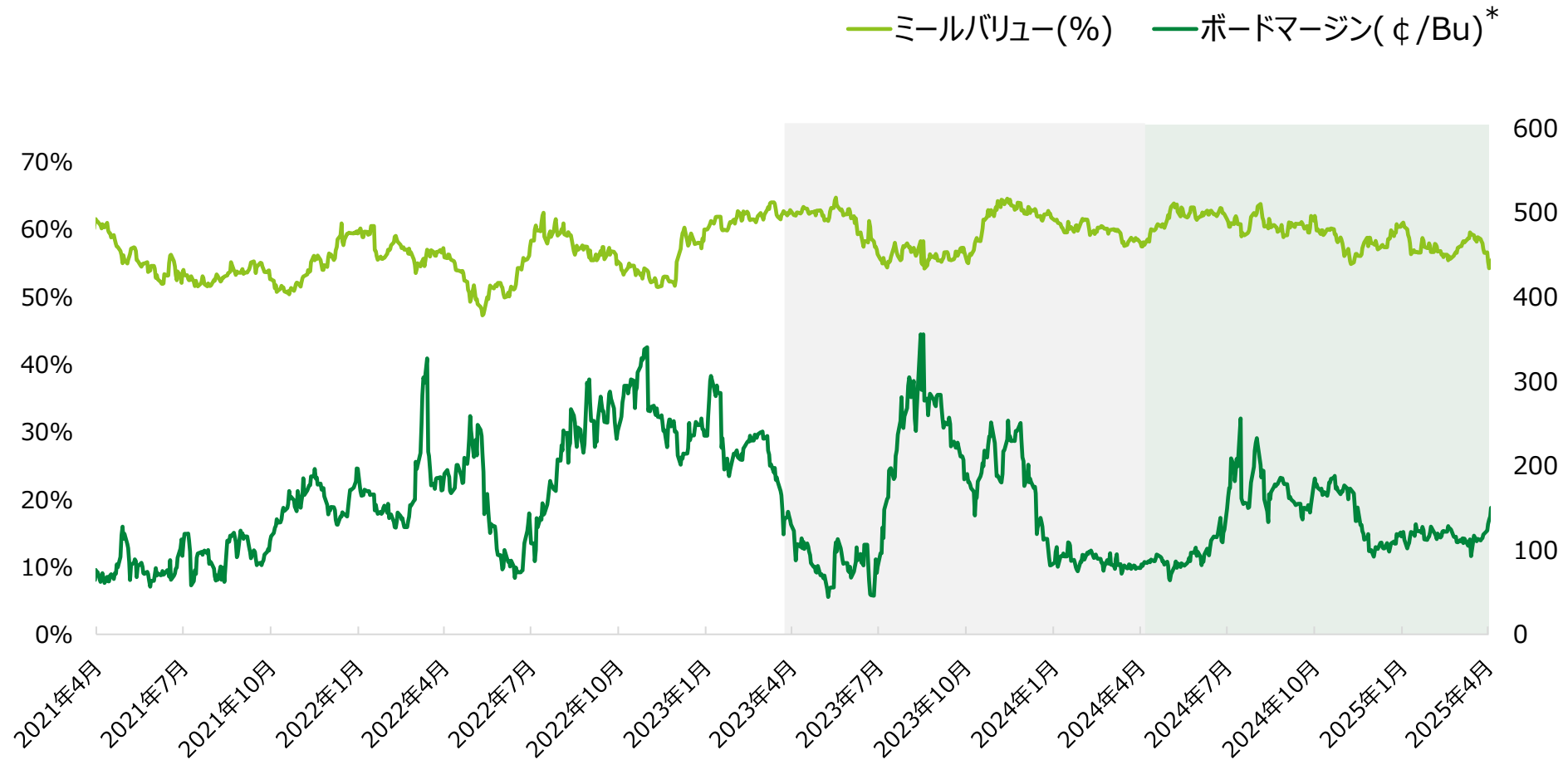


オリーブ、為替(ユーロ)の相場動向

* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2021年4月を1とする(図中では2021年7月が1となる))



ミールバリューの動向



* シカゴ大豆定期 1 ブッシェルから産出する大豆油と大豆ミールの価値の合計と大豆 1 ブッシェルの価格の差

